



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社ビジョン 上場取引所 東
 コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐野 健一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 CFO兼管理本部長 (氏名) 中本 新一 (TEL) 03-5325-0344
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	8,644	△10.2	654	—	680	922.1	455	—
2020年12月期第2四半期	9,630	△25.6	△15	—	66	△96.0	△1,352	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 485百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 △1,355百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	9.68	9.43
2020年12月期第2四半期	△28.54	—

(注) 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	12,200	9,253	75.8
2020年12月期	11,313	8,769	77.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 9,245百万円 2020年12月期 8,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,468	4.9	1,007	869.6	1,028	351.1	685	14.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	49,047,600株	2020年12月期	49,027,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	1,948,090株	2020年12月期	1,948,044株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	47,085,954株	2020年12月期 2 Q	47,366,655株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。先行きについては、感染拡大の防止策が講じられ、ワクチン接種が促進される中で、海外経済の改善もあり持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染の動向が内外経済に与える影響や、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような経済環境のもと、当社グループは、引き続き日本国内におけるグローバルW i F i 事業、情報通信サービス事業に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、コロナ禍前の需要を享受できていた前年同期実績を下回りましたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期実績を上回る結果となっております。

なお、当第2四半期連結会計期間の売上高、営業利益、経常利益はいずれも、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化した前第2四半期連結会計期間以降、四半期において最高値となっております。

	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,644	9,630	△985	△10.2
営業利益又は営業損失 (△)	654	△15	669	—
経常利益	680	66	614	922.1
親会社株主に帰属する四 半期純利益又は親会社株 主に帰属する四半期純損 失(△)	455	△1,352	1,808	—

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

(グローバルW i F i 事業)

当第2四半期連結累計期間においては、コロナ禍におけるテレワーク及びオンライン営業の環境整備を背景とした通信需要が継続する中、引越、出張、各種イベント等の様々なシーンにおけるニーズに応えつつ、国内利用プランのオプションを設けた社内常備型モバイルW i - F i ルーター「グローバルW i F i f o r B i z」の拡販、利用促進に努めてまいりました。

また、空港検疫所における日本入国時の水際対策の一環として、指定アプリの登録・確認業務を一時的に受託し、2021年4月より本格的に実施しております。

これらの取り組みにより、当第2四半期連結累計期間における売上高は、コロナ禍前の需要を享受できていた前年同期実績を下回りましたが、セグメント利益は前年同期実績を上回りました。

また、当第2四半期連結会計期間における売上高及びセグメント利益は、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化した前第2四半期連結会計期間以降の四半期実績としては最高値となっております。

グローバルW i F i 事業	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,865	4,634	△768	△16.6
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	380	△20	401	—

(情報通信サービス事業)

当事業においては、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応し、かつ景気に左右されずに需要が見込める経費削減、業務効率改善、リモートワーク支援に貢献できるサービスを展開しております。

新設法人・ベンチャー企業をターゲットとした川上戦略と、企業の成長ステージに応じたアップセル・クロスセルを軸とし、ストックの増加と高効率な営業活動を推進することで安定性と収益性の向上に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、新電力取次事業（一時的な電力取引価格高騰の影響による）、及びブロードバンド取次事業（開通工事の遅延による）は一時的に減収となりましたが、リモート環境を支援する移動体通信機器が好調な売れ行きを示した他、緊急事態宣言が全国に及んだ前年同期と比較してOA機器やインターネットメディア商材の販売数も増加いたしました。

更に、月額制のクラウド型ワークフローサービス「VWS」や各種保守サービス等の拡販により、ストック及び月額制自社サービスによる収益も順調に増加した結果、売上は前年同期実績を上回りました。

月額制自社サービスは将来収益の基盤となる反面、フロービジネスと比べ、継続的な収益となることから、拡販に注力したことで相対的に利益率は減少することとなり、セグメント利益は前年同期実績を下回っております。

情報通信サービス事業	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	4,655	4,520	134	3.0
セグメント利益	777	817	△39	△4.8

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は12,200百万円(前連結会計年度末比887百万円増)となりました。

流動資産は、9,868百万円(前連結会計年度末比995百万円増)となり、その主な要因は、現金及び預金が491百万円、受取手形及び売掛金が605百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、2,332百万円(前連結会計年度末比108百万円減)となり、その主な要因は、投資その他の資産が164百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,946百万円(前連結会計年度末比402百万円増)となりました。

流動負債は、2,918百万円(前連結会計年度末比410百万円増)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が129百万円、未払法人税等が52百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は、28百万円(前連結会計年度末比7百万円減)となっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は9,253百万円(前連結会計年度末比484百万円増)となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益455百万円の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの事業活動に与える影響について、適正かつ合理的に算出することが困難であったため「未定」としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき通期連結業績予想を次のとおり公表いたします。

グローバルWi-Fi事業におきましては、2021年2月15日公表時の「当第4四半期からの海外渡航者（アウトバウンド、インバウンド）が2019年同期間対比25%回復」の前提条件を維持しつつ、順調な国内需要の獲得と法人向け社内常備型「グローバルWi-Fi for Biz」の獲得増加を考慮いたしました。

一方で、コロナ禍における一時的な受託業務の継続等については不確実であるため、第4四半期からは予想数値より除外しております。

情報通信サービス事業におきましては、足元の堅調な営業成績と自社サービス（月額制）の増加、「ビジョンでんき」提供開始に伴う当期に与える影響値（売上高：△26百万円、営業利益：△166百万円）を考慮いたしました。

以上を踏まえ、売上高17,468百万円（前年比4.9%増）、営業利益1,007百万円（前年比869.6%増）、親会社株主

に帰属する当期純利益は685百万円（前年同期は△1,138百万円）と算定いたしました。

当社グループにおきましては、ウィズコロナにおける柔軟な事業運営による収益及び利益率の向上を図りつつ、アフターコロナを見据えた新規事業、新サービス（利便性向上含む）の展開を積極的に行い、新型コロナウイルス感染症拡大前の成長性を上回る成長を実現すべく事業活動を行ってまいります。

詳細につきましては、本日（2021年8月10日）公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,650,318	7,142,159
受取手形及び売掛金	1,428,842	2,034,303
商品	125,303	82,939
貯蔵品	4,748	5,571
その他	724,808	674,106
貸倒引当金	△61,666	△70,985
流動資産合計	8,872,354	9,868,093
固定資産		
有形固定資産	342,989	384,490
無形固定資産	196,721	210,885
投資その他の資産		
その他	1,949,361	1,791,677
貸倒引当金	△48,393	△55,009
投資その他の資産合計	1,900,967	1,736,667
固定資産合計	2,440,679	2,332,043
資産合計	11,313,034	12,200,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	716,837	846,571
未払法人税等	55,918	108,509
賞与引当金	159,001	188,305
短期解約返戻引当金	49,271	45,996
その他	1,526,752	1,728,698
流動負債合計	2,507,781	2,918,081
固定負債		
その他	36,080	28,183
固定負債合計	36,080	28,183
負債合計	2,543,862	2,946,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,363,785	2,371,124
資本剰余金	2,396,243	2,403,583
利益剰余金	6,359,377	6,815,310
自己株式	△2,416,784	△2,416,841
株主資本合計	8,702,621	9,173,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,618	44,148
繰延ヘッジ損益	△721	—
為替換算調整勘定	△2,549	28,524
その他の包括利益累計額合計	44,347	72,672
新株予約権	21,344	6,316
非支配株主持分	859	1,705
純資産合計	8,769,171	9,253,871
負債純資産合計	11,313,034	12,200,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	9,630,286	8,644,983
売上原価	4,807,852	4,139,686
売上総利益	4,822,433	4,505,296
販売費及び一般管理費	4,837,578	3,851,006
営業利益又は営業損失(△)	△15,144	654,289
営業外収益		
受取利息	441	379
受取配当金	1,500	1,500
為替差益	7,219	23,106
助成金収入	74,112	3,654
その他	11,143	3,945
営業外収益合計	94,417	32,585
営業外費用		
支払利息	4,076	—
支払手数料	7,433	3,899
その他	1,137	2,010
営業外費用合計	12,647	5,909
経常利益	66,624	680,965
特別利益		
新株予約権戻入益	—	14,940
固定資産売却益	—	154
投資有価証券売却益	32	—
特別利益合計	32	15,094
特別損失		
固定資産除却損	1,176	2,039
リース解約損	567	—
投資有価証券評価損	187,658	17,335
事務所移転費用	7,070	—
減損損失	1,395,072	—
特別損失合計	1,591,545	19,375
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,524,887	676,685
法人税、住民税及び事業税	77,983	81,565
法人税等調整額	△250,285	138,340
法人税等合計	△172,302	219,906
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,352,585	456,779
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△510	846
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,352,074	455,933

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,352,585	456,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,488	△3,470
繰延ヘッジ損益	△17,546	721
為替換算調整勘定	△6,059	31,074
その他の包括利益合計	△3,117	28,325
四半期包括利益	△1,355,702	485,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,355,192	484,258
非支配株主に係る四半期包括利益	△510	846

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年2月21日開催の取締役会決議に基づき、市場買付けの方法により自己株式909,000株の取得を行っております。この結果、第1四半期連結累計期間において、自己株式が985,674千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,416,784千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,634,042	4,518,123	9,152,165	478,120	9,630,286	—	9,630,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,343	2,343	78	2,421	△2,421	—
計	4,634,042	4,520,467	9,154,509	478,198	9,632,708	△2,421	9,630,286
セグメント利益又は損失(△)	△20,900	817,049	796,149	△306,351	489,797	△504,942	△15,144

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハイヤータイムシェアリングサービス事業、ヘルスケア事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△504,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

グローバルW i F i 事業及び「その他」に含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった資産(のれんを含む)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,395,072千円であります。セグメントごとの減損損失の計上額は、グローバルW i F i 事業1,209,144千円、ハイヤータイムシェアリングサービス事業185,928千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」に含まれるハイヤータイムシェアリングサービス事業において、のれんの減損損失を計上したため、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は当第2四半期連結累計期間において119,924千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,865,419	4,654,920	8,520,340	124,642	8,644,983	—	8,644,983
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	264	264	3,795	4,060	△4,060	—
計	3,865,419	4,655,185	8,520,604	128,438	8,649,043	△4,060	8,644,983
セグメント利益 又は損失(△)	380,521	777,794	1,158,316	△40,169	1,118,146	△463,856	654,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△463,856千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。